

神奈川 ネット



前横浜市議員
青木マキ

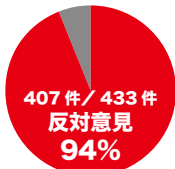


横浜市議員
平田いくよ

カジノを含む統合型リゾート施設 (IR) 誘致方針の撤回を！

8月22日午後、林文子横浜市長が定例記者会見を行い、カジノを含むIRの誘致に向けて、本格的な検討準備に入る意向を明らかにしました。9月議会では、このIR推進事業におよそ4億円の補正予算が審議されます。

市長は、2017年横浜市長選挙以来、IR誘致は「白紙」としてきましたが、市民の声に耳を傾けることなく、一転、カジノ誘致に舵を切りました。市民合意のプロセスを無視した一方的な決定に、私たちは、反対の立場から『カジノを含む統合型リゾート施設 (IR) 誘致方針の撤回を求める意見書』と、反対署名を、賛同者と共に林市長へ提出しました。



横浜市中期4か年計画へのパブリックコメント
IRに関する意見は全体の20.3%(433件)にのぼる

カジノが生み出す利益は、誰かの損失の上に成り立つものであり、その損失は、経済のみならず、心身の健康に関わる場合もありま

す。市民の利益を損ないかねない産業を市が率先し誘致するようなことがあってはなりません。

市長は、誘致の理由として「横浜の将来に対する強い危機感」をあげています。しかし、人口減少社会や少子高齢化が進む中、カジノを成長戦略に位置付けるという方針にこそ、危機感を覚えます。また、「横浜に滞在しても見たいというものがない」とまで発言。そうでしょうか？横浜市は、歴史豊かな美しい港を有し、多くの観光客を呼び、また住みやすい街として栄えてきました。歴史文化を尊重し、豊かな自然を守り、市民の健康を第一に、発展をみざすべきです。



政策局職員に意見書を提出

今後も誘致方針の撤回に向けて、全力で取り組みます。

視点

参議院選挙を終えて

青木 マキ

7月21日投開票の参議院選挙は、政権与党が議席を減らしたものの、改選議席の過半数を上回る結果となりました。神奈川ネット・青葉は、若林ともこさん(比例代表)を推薦し、市民の議席獲得に向けて取り組みましたが、結果は、31683票で議席には届きませんでした。年金2000万円問題に象徴された社会保障や、消費税増税といった、生活に密着した課題がありながらも、平均投票率は、24年ぶりに50%を割り込み48.8%(青葉区51.97%)で、市民と政治の距離を表す結果となりました。

昨今将来に希望を見出せないという声が、若い世代を中心に広がっていることは、内閣府等の調査にも表れています。そこに、増税、社会保障の負担増、年金制度への信頼の失墜が追い討ちをかけ、諦めの風潮が広がったのではないのでしょうか。ローカルパーティ神奈川ネットは、議員や大きな権力に委ねることなく、地域社会で一人一人の暮らしと政治をつなげる生活者の政治を掲げ活動しています。生活課題や、福祉現場の声を届け、政治への参加を広げることこそが、不信を責任に変える力となると考えます。政治が「希望」であるように、日々の実践から、望む未来をつくりだすことに、今後も努力を注ぎつけていきます。

